

# このままでは、自校で調理しない学校給食に？！

## 学校給食調理場の【集約化】

岡山市は、老朽化している岡山学校給食センター(中区赤田)の移転建替計画に伴って、現在、自校調理を行っている中学校7校もセンター給食へと集約化する方針案を示しました。

岡山市教育委員会は「小学校は単独自校調理方式を原則」とする一方で、「ただし、小規模校については取り扱いをさらに検討していく」としており、小学校も自校方式でなくなるのではないかと心配は消えません。

学校の給食室がなくなる予定の学校	
高島中学校	(501人)
富山中学校	(323人)
操南中学校	(770人)
旭東中学校	(811人)
西大寺中学校	(473人)
福浜中学校	(473人)
福南中学校	(443人)

## 【集約化】は、学校現場や子どもたち、保護者の願いなの？



自校方式の学校では、子どもたちや先生から ▶お昼が近くなるといい匂いがしてきて楽しみ ▶作ってくれる方の顔が見られて嬉しい などの声が聞かれます。

また、岡山市の学校給食の運営を協議する委員会でも、▶やみくもな“集約化”より、まず人員不足に対する取り組みを▶予算がかかろうが、いいものは残して欲しい といった発言がありました。

しかし、岡山市教育委員会が示した案は、こうした声を反映した内容となっていません。

## 想定される メリット(★) と デメリット(△)

自校調理方式	センター調理方式
<ul style="list-style-type: none"> <li>★できたての温かい給食で食欲が湧く</li> <li>★給食を作る人、食べる人、お互いの顔が見える</li> <li>★匂いも含めた“五感”で食べることができる</li> <li>★子どもたちが育てた野菜が給食の食材になりやすい</li> <li>★食材の作り手がわかる</li> <li>★各学校への栄養職員配置によって、               <ul style="list-style-type: none"> <li>・行き届いた「食育」の実践</li> <li>・学校行事にあわせた独自の献立 が可能</li> </ul> </li> <li>△各学校への栄養士配置等によって人件費がかかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★調理業務が一元化され、管理運営に係る労力が軽減される</li> <li>△トラブルが起きた場合は、子どもたちの給食が一度に止まる</li> <li>△配送時間を考慮すると、食中毒防止等のための指針“調理後2時間以内の給食”を守ることができるか心配</li> <li>△受配校には栄養士が配置されない</li> <li>△「食育」の学校間格差が拡大する</li> <li>△給食を作る人が見えなくなる</li> <li>△地場産物の利用が難しくなる</li> </ul>

## 子どもの育ちに関しては、積極的な財政投入を！

子どもたちに豊かな食育を提供することが自治体の責務です。食教育の教材である給食を安全・安心に提供するだけでなく、豊かな情操教育に活かすためにも、自校方式の拡充を求めましょう。

**オモテ面の署名にご協力ください！**

連絡先：岡山市の学校給食をみんなで良くする会 (HP⇒)



岡山市長 大森 雅夫 様  
岡山市教育委員会 教育長 菅野 和良 様

## 学校内の給食室による調理で、豊かな学校給食の実現を求める署名

岡山市教育委員会が令和2年9月市議会で明らかにした、現在の「5中学校 2500食」から「12中学校 7000食」の大規模調理センターとして岡山学校給食センターを移転建替する計画は、子どもたちの教育・食育のためになる計画なのでしょうか。同時に示された、今後、全ての中学校給食を給食センターへ集約化する方針も踏まえれば、残念ながら納得できる内容とは言えません。

大規模センターでの調理には、「多感な時期の子どもたちの食欲をかき立てることができるのか」「多様な地元食材は活用されるのか」「献立に見合った細かい温度管理ができるのか」「食中毒を含めた感染症は予防できるのか」「トラブルで給食が提供されなくなった時には、より多くの保護者と子どもに負担がかかるのではないか」・・・など、いろいろな不安があります。

さらに、センターへの集約化によって栄養職員の配置も縮小され、これまで力を入れてきた食育も、自校方式と比べて形式的な内容しか実施できなくなることが懸念されます。

岡山市の自校方式による学校給食の提供は、大規模な感染症を発生させた過去の過ちを教訓に、各調理場への栄養職員配置や徹底した衛生管理とともに、地元生産者との連携による地産地消など各校の規模だからできる施策を充実させてきました。他自治体の保護者からは、「岡山市の学校給食がうらやましい」といった声を多く聞くなど岡山市の誇りです。

すべての教育の基本を支える食育の充実は不可欠であり、子どもたちの学校給食を、お金を理由に切り下げないで欲しいというみんなの願いをもとに、より豊かな岡山市の学校給食の実現のために、以下の点を申入れます。

- 1.学校給食調理場は、“集約化”への方針ではなく、“全小中学校の単独自校方式化”への方針を示してください。
- 2.全ての児童生徒に寄り添った食育実施のため、正規職員の学校栄養職員を全校へ配置して下さい。

氏名	住所

<呼びかけ団体>

岡山市の学校給食をみんなで良くする会

岡山市北区檜津2165 kyushoku@ocwu.jp

取り扱い団体

--